

# 2014年3月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2014年3月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 貸借対照表	P.5
④ キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.7
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
III 2014年12月期 業績予想	P.8
① 損益計算書	P.8
② 製商品別売上高	P.10
③ 設備投資の状況	P.11
④ 非資金項目	P.11
⑤ 配当	P.11
【参考:12ヶ月情報】	P.12
① 損益計算書	P.12
② 製商品別売上高	P.13
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.14

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2014年4月24日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

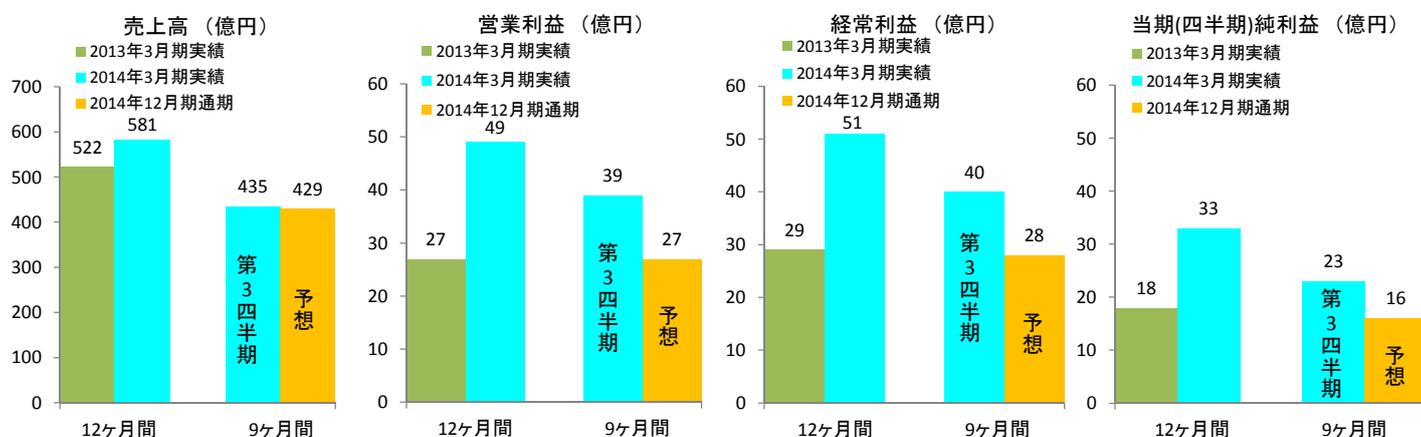
## ① 経営成績

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2014年3月期 第3四半期実績	2014年12月期 通期予想	増減 D-C	増減率 (%) (D-C)/C
	A	B			C	D		
売上高	52,294	58,109	5,815	11.1	43,524	42,900	△624	△1.4
営業利益	2,794	4,987	2,193	78.5	3,986	2,700	△1,286	△32.3
経常利益	2,952	5,124	2,172	73.6	4,098	2,800	△1,298	△31.7
当期(四半期)純利益	1,849	3,352	1,502	81.2	2,378	1,600	△778	△32.7

※当社は、2014年6月25日に開催予定の第122回定時株主総会において、定款の一部変更が承認されることを条件として、事業年度を毎年1月1日から12月31日まで（決算期は毎年12月31日）に変更することを予定しております。従いまして、決算期変更の経過期間となる2014年12月期については、9ヶ月間（2014年4月1日～2014年12月31日）の予想数値を記載しております。また、参考として2014年3月期第3四半期（2013年4月1日～2013年12月31日）の実績数値との比較を記載しております。

### (参考)

研究開発費		7,824	6,662	△1,161	△14.8	5,184	4,350	△834	△16.1
1株当たり当期(四半期)純利益(EPS)	(円)	65.36	118.47	53.11		84.03	56.54	△27.49	
自己資本当期(四半期)純利益率(ROE)	(%)	2.4	4.3	1.9		3.1	-		
総資産経常利益率	(%)	3.3	5.6	2.3		4.5	-		
売上高営業利益率	(%)	5.3	8.6	3.3		9.2	-		
総資産当期(四半期)純利益率(ROA)	(%)	2.1	3.6	1.5		2.6	-		



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
総資産	91,350	93,137	1,787	2.0
純資産	76,700	79,018	2,317	3.0
自己資本比率	(%)	84.0	84.8	0.8
1株当たり純資産(BPS)	(円)	2,710.18	2,792.14	81.96

## Ⅱ 2014年3月期 実績

### ① 損益計算書

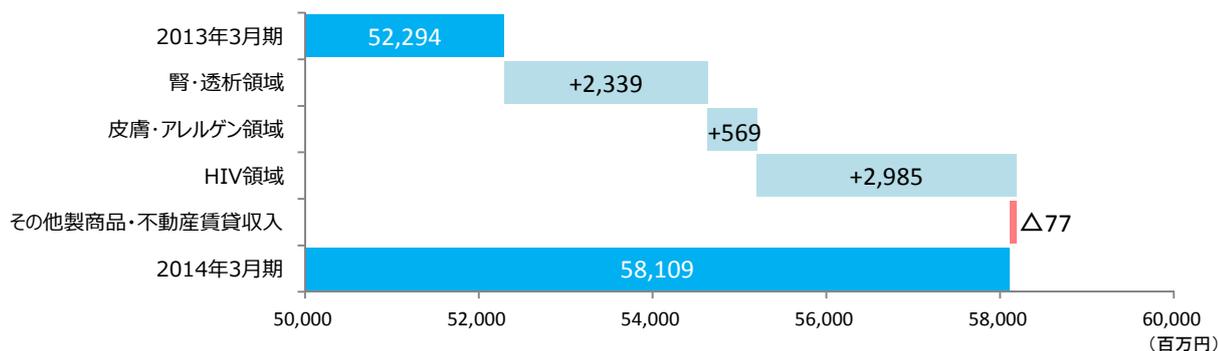
(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
売上高	52,294	58,109	5,815	11.1
製商品売上高	52,067	57,886	5,818	11.2
腎・透析領域	21,373	23,713	2,339	10.9
皮膚・アレルギー領域	11,942	12,511	569	4.8
HIV領域	12,073	15,058	2,985	24.7
その他	6,678	6,603	△74	△1.1
不動産賃貸収入	226	223	△3	△1.4
売上原価	22,841	26,267	3,425	15.0
製商品売上原価	22,780	26,209	3,429	15.1
不動産賃貸原価	60	57	△3	△5.6
売上総利益	29,452	31,842	2,390	8.1
販売費及び一般管理費	26,658	26,854	196	0.7
販管費(研究開発費除く)	18,834	20,192	1,358	7.2
研究開発費	7,824	6,662	△1,161	△14.8
営業利益	2,794	4,987	2,193	78.5
営業外収益	215	157	△58	-
営業外費用	57	20	△37	-
経常利益	2,952	5,124	2,172	73.6
特別利益	-	15	15	-
特別損失	22	6	△16	-
税引前当期純利益	2,929	5,133	2,204	75.2
法人税等	1,079	1,781	701	64.9
当期純利益	1,849	3,352	1,502	81.2

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2013年3月期	2014年3月期	増減 B-A
	A	B	
売上原価	43.7	45.2	1.5
販売費及び一般管理費	51.0	46.2	△4.8
研究開発費	15.0	11.5	△3.5
営業利益	5.3	8.6	3.3
経常利益	5.6	8.8	3.2
当期純利益	3.5	5.8	2.3

【対前期実績増減要因】

売上高（58,109百万円 対前期+5,815百万円）

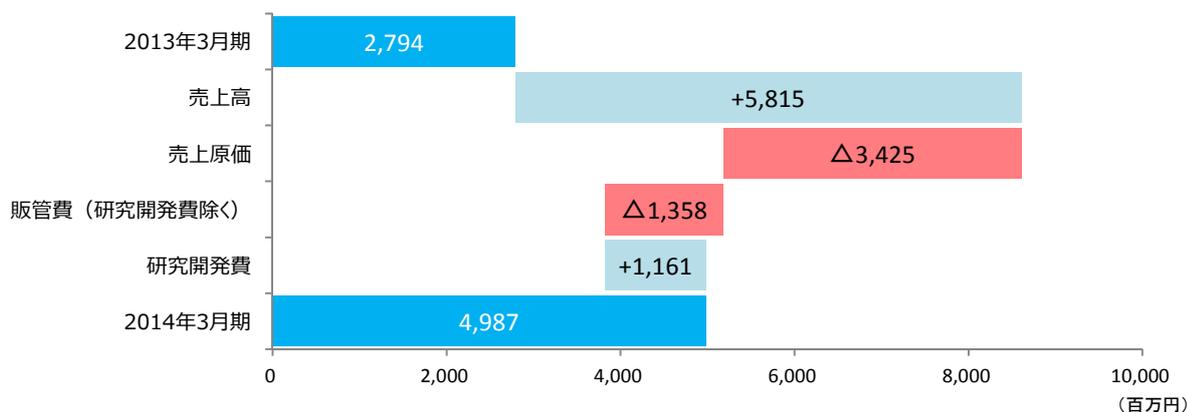


主な増減要因

腎・透析領域	：レミッチカプセル +2,912百万円、注射用フサン Δ513百万円 ユリノーム錠 Δ356百万円
皮膚・アレルギー領域	：アンテベート +376百万円
HIV領域	：ツルバダ配合錠 +1,834百万円、スタビルド配合錠 +1,220百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（4,987百万円 対前期+2,193百万円）



主な増減要因

売上原価	：売上高の増加、販売品目の構成変化
販管費（研究開発費除く）	：販売促進費、販売権（スタビルド配合錠）の償却費、給料及び手当の増加
研究開発費	：臨床試験費用（TO-194SL、TO-203）の減少

経常利益（5,124百万円 対前期+2,172百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,352百万円 対前期+1,502百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
製商品売上高	52,067	57,886	5,818	11.2
レミッチカプセル	12,106	15,019	2,912	24.1
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	11,594	13,428	1,834	15.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	6,766	7,142	376	5.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	4,533	4,020	△513	△11.3
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
コリノーム錠 ※1	2,751	2,395	△356	△13.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	1,982	2,278	296	14.9
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	1,886	2,066	180	9.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ドボネックス軟膏	1,892	1,907	14	0.8
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,505	1,614	109	7.2
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	1,350	1,390	40	3.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,270	1,249	△21	△1.7
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
スタリビルド配合錠 ※2	—	1,220	1,220	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
その他製商品	4,428	4,152	△275	△6.2

※1 自社品

※2 「スタリビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
自社品売上高	19,380	19,259	△120	△0.6
自社品比率 (%)	37.2	33.3	△3.9	—

### ③ 貸借対照表

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	構成比 (%) (当期)
	A	B			
流動資産	71,492	72,466	973	1.4	77.8
現金及び預金	5,903	406	△5,497		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,324	20,708	14,383		
受取手形及び売掛金	20,248	24,167	3,918		
有価証券	29,197	16,804	△12,392		
たな卸資産	7,530	8,029	498		
その他	2,288	2,350	62		
固定資産	19,857	20,671	813	4.1	22.2
有形固定資産	5,652	5,774	122		
無形固定資産	639	622	△16		
投資その他の資産	13,566	14,273	707		
投資有価証券	5,379	6,708	1,328		
長期前払費用	6,187	5,920	△267		
その他	1,999	1,644	△354		
資産合計	91,350	93,137	1,787	2.0	100.0
流動負債	13,969	13,337	△632	△4.5	14.3
買掛金	5,674	6,382	708		
未払金	5,280	2,998	△2,282		
未払法人税等	713	1,202	489		
賞与引当金	1,210	1,345	134		
その他	1,090	1,407	316		
固定負債	680	782	101	15.0	0.9
負債合計	14,650	14,119	△530	△3.6	15.2
株主資本	76,341	78,560	2,218	2.9	84.3
評価・換算差額等	358	457	98	27.5	0.5
純資産合計	76,700	79,018	2,317	3.0	84.8
負債純資産合計	91,350	93,137	1,787	2.0	100.0

#### 主な増減要因

##### (流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の増加による増加
- 有価証券 : コマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金の償還による減少
- たな卸資産 : 原材料及び貯蔵品の増加

##### (固定資産)

- 投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

##### (流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加
- 未払金 : 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払による減少

##### (純資産)

- 株主資本 : 当期純利益による増加、配当金の支払による減少

#### ④ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額
	A	B	B-A
税引前当期純利益	2,929	5,133	2,204
減価償却費	1,061	1,089	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△668	△3,918	△3,250
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,187	△498	688
仕入債務の増減額 (△は減少)	956	708	△247
未払金の増減額 (△は減少)	3,011	△2,305	△5,317
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△3,437	267	3,704
法人税等の支払額	△1,921	△1,111	810
その他	△591	434	1,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	151	△201	△352
有形固定資産の取得による支出	△1,174	△640	534
無形固定資産の取得による支出	△176	△171	5
その他	2,226	18,518	16,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	874	17,706	16,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,181	△1,319	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△154	16,186	16,341
現金及び現金同等物の期首残高	17,382	17,228	△154
現金及び現金同等物の期末残高	17,228	33,414	16,186

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネジメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

#### 主な増減要因

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

- 売上債権の増減額 : 当期 売上高の増加
- 未払金の増減額 : 当期 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払
- 長期前払費用の増減額 : 前期 販売権（スタビルド配合錠等）の取得

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

- その他 : 当期 有価証券の償還

## ⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
設備投資額	1,374	1,202	△172	△12.5
有形固定資産	1,241	1,018	△223	△18.0
無形固定資産	132	183	51	38.5

### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

## ⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
減価償却費	1,061	1,089	27	2.6
長期前払費用償却費	612	845	233	38.1

## ⑦ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>皮膚・アレルギー領域</b>								
TO-194SL 「シタトレン スギ花粉舌下液」	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下液					承認	・自社開発 ・2014年1月17日に製造販売承認取得
TO-203	室内塵ダニアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠		Phase II/III				・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-204	室内塵ダニアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	注射剤				申請		・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2013年12月24日に製造販売承認申請
TO-205	アレルギー疾患のアレルゲンの確認 (アレルゲン検査薬 (室内塵ダニ))	注射剤				申請		・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2013年12月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠	Phase I					・自社開発
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤				申請 準備中		・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時 (2014年1月30日) からの変更点: JTT-751「リオナ錠」は本年5月からの販売を予定しております。

JTE-350の国内製造販売承認申請準備中

### Ⅲ 2014年12月期 業績予想

※当社は、2014年6月25日に開催予定の第122回定時株主総会において、定款の一部変更が承認されることを条件として、事業年度を毎年1月1日から12月31日まで（決算期は毎年12月31日）に変更することを予定しております。従いまして、決算期変更の経過期間となる2014年12月期については、9ヶ月間（2014年4月1日～2014年12月31日）の予想数値を記載しております。また、参考として2014年3月期第3四半期（2013年4月1日～2013年12月31日）の実績数値との比較を記載しております。

#### ① 損益計算書

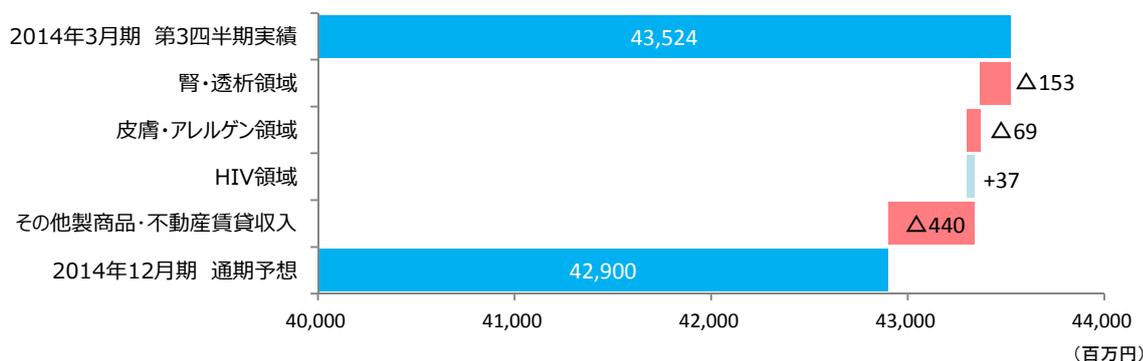
(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期実績	通期予想		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	43,524	42,900	△624	△1.4
製商品売上高	43,356	42,730	△626	△1.4
腎・透析領域	17,583	17,430	△153	△0.9
皮膚・アレルギー領域	9,659	9,590	△69	△0.7
HIV領域	10,952	10,990	37	0.3
その他	5,161	4,720	△441	△8.5
不動産賃貸収入	168	170	1	1.0
売上原価	19,457	20,000	542	2.8
売上総利益	24,066	22,900	△1,166	△4.8
販売費及び一般管理費	20,080	20,200	119	0.6
販管費（研究開発費除く）	14,896	15,850	953	6.4
研究開発費	5,184	4,350	△834	△16.1
営業利益	3,986	2,700	△1,286	△32.3
経常利益	4,098	2,800	△1,298	△31.7
当期(四半期)純利益	2,378	1,600	△778	△32.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年3月期	2014年12月期	増減
	第3四半期実績	通期予想	
	A	B	B-A
売上原価	44.7	46.6	1.9
販売費及び一般管理費	46.1	47.1	1.0
研究開発費	11.9	10.1	△1.8
営業利益	9.2	6.3	△2.9
経常利益	9.4	6.5	△2.9
当期(四半期)純利益	5.5	3.7	△1.8

**【対前年同一期間（2014年3月期第3四半期）実績増減要因】**

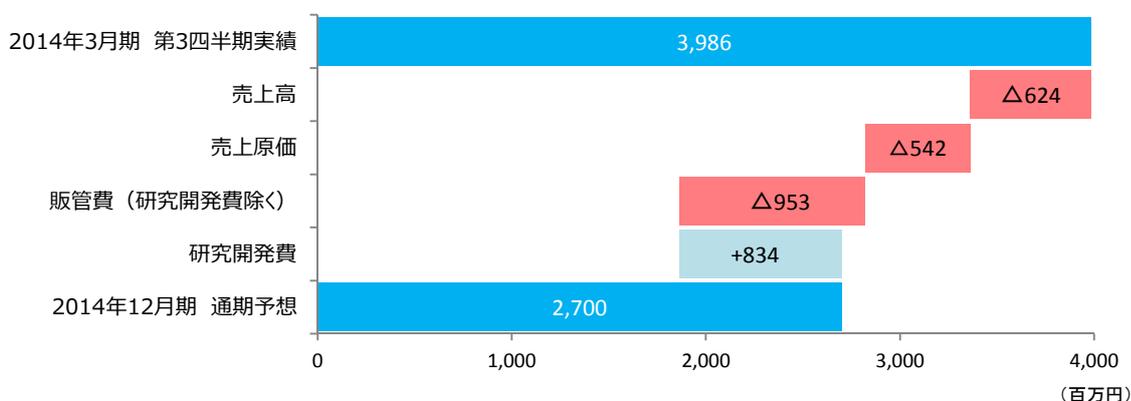
**売上高（42,900百万円 対前年同一期間実績△624百万円）**



主な増減要因			
腎・透析領域	リオナ錠	+1,500百万円	レミッチカプセル △712百万円
	注射用フサン	△518百万円	ユリノーム錠 △459百万円
皮膚・アレルギー領域	アンテベート	△415百万円	
HIV領域	スタビルド配合錠	+1,263百万円	ツルバダ配合錠 △1,140百万円

※詳細はP10「② 製商品別売上高」を参照

**営業利益（2,700百万円 対前年同一期間実績△1,286百万円）**



主な増減要因	
売上原価	: 販売品目の構成変化、薬価改定に伴う原価率の上昇
販管費（研究開発費除く）	: 新製品に係るプロモーション費用、給料及び手当の増加
研究開発費	: 臨床試験費用の減少

**経常利益（2,800百万円 対前年同一期間実績△1,298百万円）**

特記事項：特になし

**当期(四半期)純利益（1,600百万円 対前年同一期間実績△778百万円）**

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期実績	通期予想		
	A	B		
製商品売上高	43,356	42,730	△626	△1.4
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	10,612	9,900	△712	△6.7
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	9,940	8,800	△1,140	△11.5
アンテベート ※1 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]	5,535	5,120	△415	△7.5
注射用フサン ※1 蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]	3,288	2,770	△518	△15.8
スタビルド配合錠 ※2 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	696	1,960	1,263	181.5
ケイキサレート ※1 高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]	1,762	1,800	37	2.1
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) [その他]	1,563	1,700	136	8.8
リオナ錠 ※3 高リン血症治療剤 [腎・透析領域]	—	1,500	1,500	—
ユリノーム錠 ※1 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]	1,919	1,460	△459	△23.9
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]	1,426	1,320	△106	△7.5
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]	1,309	1,300	△9	△0.7
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]	1,018	1,030	11	1.2
ロコイド ※1 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]	1,064	1,000	△64	△6.1
その他製商品	3,218	3,070	△148	△4.6

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月からの販売を予定しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期実績	通期予想		
	A	B		
自社品売上高	15,124	14,080	△1,044	△6.9
自社品比率 (%)	34.9	33.0	△1.9	—

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期実績 A	2014年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	990	1,579	588	59.4
有形固定資産	888	997	108	12.2
無形固定資産	102	582	479	467.6

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期実績 A	2014年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	795	935	139	17.5
長期前払費用償却費	627	654	26	4.2

### ⑤ 配当

	2014年3月期 通期 A	2014年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
1株当たり配当金 (円)	40	40	0	0.0
配当性向 (%)	33.8	70.8	37.0	-

## 【参考：12ヶ月情報】

※2013年1～12月の数値

2013年1～3月（2013年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2013年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
 + 2013年4～12月（2014年3月期第3四半期実績）

※2014年1～12月の数値

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
 + 2014年4～12月（2014年12月期通期予想）

### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率 (%)
	1～12月 A	1～12月 B		
売上高	55,291	57,485	2,193	4.0
製商品売上高	55,067	57,259	2,192	4.0
腎・透析領域	22,333	23,560	1,226	5.5
皮膚・アレルギー領域	12,336	12,441	104	0.9
HIV領域	13,804	15,096	1,291	9.4
その他	6,592	6,162	△429	△6.5
不動産賃貸収入	224	225	0	0.3
売上原価	24,727	26,809	2,081	8.4
売上総利益	30,564	30,675	111	0.4
販売費及び一般管理費	26,942	26,974	31	0.1
販管費（研究開発費除く）	19,772	21,146	1,373	6.9
研究開発費	7,170	5,828	△1,342	△18.7
営業利益	3,621	3,701	80	2.2
経常利益	3,738	3,825	87	2.3
当期純利益	2,335	2,574	239	10.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2013年	2014年	増減
	1～12月 A	1～12月 B	
売上原価	44.7	46.6	1.9
販売費及び一般管理費	48.7	46.9	△1.8
研究開発費	13.0	10.1	△2.9
営業利益	6.5	6.4	△0.1
経常利益	6.8	6.7	△0.1
当期純利益	4.2	4.5	0.3

(参考) 中期経営計画 2015年度目標への推移

(単位:百万円)	2013年	2014年	目標
	1～12月	1～12月	2015年 1～12月
売上高	55,291	57,485	63,000
営業利益	3,621	3,701	5,500
当期純利益	2,335	2,574	3,500

※当社は、2014年6月25日に開催予定の第122回定時株主総会において、定款の一部変更が承認されることを条件として、事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更することとしておりますが、2015年度目標については2013年4月25日公表数値と変更ありません。

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年 1~12月 A	2014年 1~12月 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	55,067	57,259	2,192	4.0
レミッチカプセル	13,415	14,307	891	6.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,690	12,287	△402	△3.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	7,111	6,726	△384	△5.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	4,201	3,501	△699	△16.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタリビルド配合錠 ※2	696	2,483	1,787	256.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
ケイキサレート ※1	2,233	2,315	82	3.7
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,012	2,203	191	9.5
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	2,483	1,935	△548	△22.1
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	1,855	1,800	△54	△3.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,541	1,604	62	4.1
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※3	—	1,500	1,500	—
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	1,384	1,326	△58	△4.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,249	1,260	11	0.9
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品	4,191	4,004	△186	△4.5

※1 自社品

※2 「スタリビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月からの販売を予定しております。

### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起